



BELOW WATER

OLIVER LUCANUS — Photo & Text

オリバー・ルカヌスが贈る水中世界 Vol.4

赤い雲

信じられないほど美しい赤色の水草マカレニア・クラビゲラは、コロンビアのシエラ・ラ・マカレナ山脈の小さな溪流にだけに見られる。この水草は、亜熱帯地域の急流中の岩上に生育する水生被子植物（カワゴケソウ科）に属す。残念ながら、この美しい植物は数カ月間休眠するため、アクアリウムには適応しないだろう。

【撮影地】
コロンビア
シエラ・ラ・マカレナ山脈
【生物】
Rhynchospora clavigera

OLIVER LUCANUS

オリバー・ルカヌス (54)

ドイツ、バイエルン州生まれ。30年以上に渡り、世界中で魚の棲息環境を撮影し続けている。[Xingu Below Water] など写真集を発売。カナダ、モントリオール在住。IEPA会員。



CREATOR WORKS

Yusuke Homma
NATURE AQUARIUM W1,800 x D600 x H600 (mm)



©AQUA DESIGN AMANO

【幻想の水辺】 清らかな水が流れる幻想的な水中世界を表現するために制作した水景であるが、その景観の形成においてはある程度水草の生長に任せてみた。そのため雑然さはあるが、野趣にあふれ草むらのような自然感が私は気に入っている。

CREATOR WORKS

Yusuke Homma
NATURE AQUARIUM W1,800 x D600 x H600 (mm)

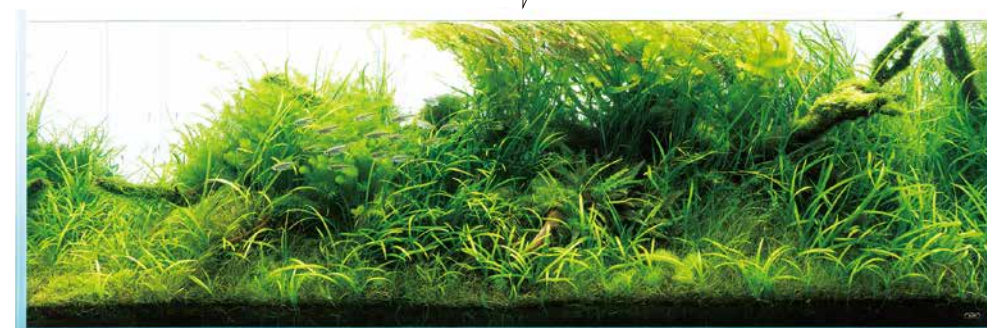


植栽



2023年2月2日撮影

完成



2023年10月19日撮影

TITLE 幻想の水辺

D A T A

制作日 2023年2月2日
撮影日 2023年10月19日
制作 本間 裕介 (ADA SUIKEI CREATOR)
水槽 キューブガーデン W1,800×D600×H600 (mm)
照明 ソーラーRGB × 3 (1日8時間30分点灯)
ろ過 スーパージェットフィルター ES-2400 (バイオリオG)
素材 ホーンウッド、万天石
底床 アクアソイル・アマゾンVer.2、パワーサンド・アドバンスL、バクター100、クリアスーパ、トルマリンBC

C O 2 バレングラス・ビートル 500、CO₂ビートルカウンターで1秒に5滴 (タワー使用)
A I R リリイパイプP-6によるエアレーション 夜間消灯時15時間30分
添加剤 プライティK、グリーンプライティ・ミネラル、グリーンプライティ・アイアン、グリーンプライティ・ニトロ
換水 1週間に1度 1/3
水質 水温25℃ pH:6.2 TH:50mg/L

水草

- 1 ラガロシフォン・マダガスカリエンシス *Lagarosiphon madagascariensis*
- 2 アポノグトン・ウルバケウス *Aponogeton ulvaceus*
- 3 エリオカウロン sp. ソーシャルフェザーダスター *Eriocaulon* sp. 'Social Feather Duster'
- 4 サジタリア・スブラータ *Sagittaria subulata*
- 5 ツーテンブル *Hygrophila angustifolia*
- 6 ミリオフィラム sp. ガイアナドワーフ *Myriophyllum* sp. 'Guyana'
- 7 フリクサショートリーフ (BIO) ※ *Blyxa novoguineensis*
- 8 エキノドルス・テネルス (BIO) ※ *Helanthium tenellum*
- 9 クリプトコリネ・ウエンティ・ブラウン (BIO) ※ *Cryptocoryne wendtii* 'Brown'
- 10 ポタモゲトン・ガイ *Potamogeton gayi*
- 11 ロングヘアーグラス (BIO) ※ *Eleocharis montevidensis*
- 12 ヘアーグラス (BIO) ※ *Eleocharis acicularis*
- 13 リシア (BIO) ※ *Riccia fluitans*
- 14 南米ウィローモス *Vesicularia dubyana*
- 15 プレミアムモス (BIO) ※ *Riccardia chamedryfolia*
- 16 ウィローモス (モスバッグ) ※ *Taxiphyllum barbieri*

魚種

- イエローコンゴトラ *Alestspetersius caudalis*
サイヤミーズフライングフォックス *Crossocheilus oblongus*
オトシクルス *Otocinclus* sp.
ヤマトヌマエビ *Caridina multidentata*

©AQUA DESIGN AMANO
※はADA生体製品ラインナップです。

SUIKEI CREATOR INTERVIEW

本間 裕介 Yusuke Homma

追求したのは草むらのような美しさ

—— 水草の勢を感じる作品ですが、やや雑然とした印象も受けます。そこは狙いでしょうか。

水景は人の管理と水草の生長によって形成されるわけですが、この作品では水草の生長に任せる割合を多くしています。正直言ってそれは最初からそう思っていたわけではなく、長期維持しているうちにこの水景は水草の生長の勢いを表現としていかしたほうがいいなと思いました。雑然とした印象を与えるのもそのためだと思いますが、そこが狙いでもありました。

—— なるほど。そのポイントとなる水草がサジタリア・スプラータでしょうか。

そうですね。水景全体の印象としては、爽やかな水の流れと幻想的な水辺を意識して制作したのですが、この作品の特徴としてはランナーで伸びるテープ状水草を多用してるところですね。最近制作してきた作品の中でのテープ状水草は、エリオカウロンsp. ソーシャルフェザーダスターなど株が大きくなるだけでランナーを伸ばさないタイプが多かったです。それはなぜかという、水景の景観維持を考えると自由自在にランナーを伸ばすタイプの水草は管理が大変なこともあり、その使用においてはどこか消極的な気持ちがありました。しかしこの作品においては管理をしていくうちに、ランナーを伸ばすサジタリア・スプラータの様子から生命力というか勢いを感じたんです。この感じは人為的には表現で

きない面白さもあるし、自分の想像を超えてくるような生長の仕方に草むらのような美しい自然感を覚えました。

—— まさに水草がつくり上げた水景という感じででしょうか。

以前の話しになりますが、天野 尚が制作した水景は私たちが維持管理をしていましたが、天野の場合はあまり細かい管理指示はないんです。うまく言葉にできないのですが、感覚なんです。極端に言うと管理しすぎては駄目で、水草の生長をいかすことが大切だと教わりました。今回の作品を制作、管理しながらそんなことを思い出しました。水草がつくり出す水景の面白さや美しさを改めて感じた作品だったと言えると思います。

—— 水草の生長に任せるという管理での難しさはありますか。

管理という点では花壇のように水草ごとにゾーニングされていれば、そこからはみ出し

構図



2023年2月2日撮影

た水草をカットすればいいので明確で楽なのですが、水草の生長に任せた管理というのは不明確で正解がないんです。あくまで感覚であり、自然感の見出し方をどう判断するかなのです。こうした場合は、どれだけ実際に自然を見てきたかという経験値が大切なのではないかと私は考えています。ADAでは水景の管理スタッフがいるのですが、こうした感覚を共有するように努めています。

—— では具体的な制作面での質問になりますが、案外細い流木を使っていますがいかがでしょうか。

爽やかなイメージにもしたかったので、流木の強さは必要ないと思いました。そのため細目の流木を使って、しかもあまり主張しないように枝などを立たせることなく流木を組んでいます。イメージ的には水流で倒れたような感じです。流木はあくまで骨格であり、主張しすぎないほうがこの作品にあった自然感が表現できると思いました。

—— 構図素材は流木以外に万天石を使用されていますが、そのほとんどが完成水景からは見えなくなっています。その点はどうか考えたらいいのでしょうか。

流木は6本くらい組み合わせて使用していますし、流木の下には万天石をいくつも置いています。確かに完成水景からは、見えなくなっているものがほとんどですが、制作段階ではこれらの構図骨格が水草植栽のガイドライン的な役割を果たしてくれるのです。また流木や石を組むことで植栽イメージも膨らみますし、とても重要な存在です。構図骨格はたとえそれ自身が見えなくても、水景の陰影として影響を及ぼしたりもします。存在そのものが大切で言ってしまうと難解かな(笑)。

—— なるほど。では、次に水草の植栽ポイントについて聞かせてください。



上:水景に水の流れを演出するためテープ状水草を多く植栽した。右:左サイドに群生感を出すためミリオフィラム sp. ガイアナドワーフ、ラガロシフォン・マダカスカリエンシスなどを植栽した。



爽やかな印象にするためにあえて赤系水草は使用せず、さらにグリーンの色合いもここではできるだけ合わせるように水草の種類を選んでいきます。また水の流れを演出する水草としてアポノゲトン・ウルバケウス、エリオカウロンsp. ソーシャルフェザーダスターを使用し、右後ろにリリパイプの出水口を設置して、背景のテープ状水草が左側に向くようになっています。さらに左サイドのミリオフィラム sp. ガイアナドワーフ、ラガロシフォン・マダカスカリエンシスなどは、流れ着いた水草がやがて群生したようなイメージです。背景は右から左に流れがあるので、手前の下草は左から右の流れるイメージになっていて、それがすごくバランスがいいと思いました。それはリリパイプからの実際の水流の影響でもあると思うのですが、それが渦を巻く清流のようなイメージでとてもいい雰囲気だなと。魚たちも水流に戯れ

て泳ぐように感じられますよね。

—— そうですね。水景全体から水の流れや涼感が伝わってきます。では最後にこの作品制作を通じて得られたものはなんでしょうか。

水草自身の生長にある程度任せた水景のほうが生命力が感じられ、野趣あふれる雰囲気になるので、こうした感覚、表現を含んだ作品を制作していきたいと思っています。もともと私は風光明媚な景色よりも、野辺の草むらに魅力を感じるので、そのほうが自然体で水景制作も行えるような気がしますね。



「ADA view」にてレイアウト動画公開中



左:あえて右後ろにリリパイプの出水口を設置し、背景のテープ状水草が左側に向くようにした。右:構図素材があるからこそ細かな植栽が行えることがわかる。

MINI NA #04

Mini NATURE AQUARIUM
MAINTENANCE GUIDE

DATA

撮影日 2024年02月14日
 水槽 キューブガーデン W150×D150×H220 (mm)
 照明 マグネットライト G スリム (1日8時間30分点灯)
 ろ過 ストリームポンプ・ミニ
 素材 ジャグレストーン (KUMU ST-05)、フラットリバーガラス (KUMU GR-01)、ブラックサンド (KUMU SA-07)
 底床 アクアソイル-アマゾニア Ver.2、バクター R
 CO₂ CO₂システム74-DA、ベルグラス・ミニで3秒に1滴
 添加剤 ミニNAリキッド
 換水 1週間に1度 1/2
 水質 水温25℃ pH:6.6 TH:50mg/L
 その他 メタルカパー・ミニ、メタルベース・ミニ



水の流れに学び その効用を知る

「ゆく河の流れは絶えずして、しかももとの水にあらず」とは、流れる川の水を見た鴨長明が、世の無常、絶えず変化していくことを例えた「方丈記」の冒頭の一文であるが、その昔から川の流れから学ぶことは多いようである。水景の配石についても、川の流れを意識して配石することが基本となる。ミニNAセット 150のような超小型水槽の場合においては、配石が制約されることはやむを得ないが、この作例においては中央の川石の入り組んだラインと、

S字を描いた白砂の効果が流れや奥行きを表現している。使用している川石は、八海石や仙見川石にも見られる窪みが特徴的なジャグレストーンで、この窪みはどう見せるかが配石作業の楽しみになるところだ。また、水の流れは水草の育成においても重要な要素であり、水槽内のCO₂や栄養素を常に水草の周囲に供給する効用がある。このシステムで水流を生み出しているのがストリームポンプ・ミニであり、ミニNAセット 150や小型のネオグラスエア (DOOA) などに最適な水流を生み出すように、ADA独自の流量 (105L/h) に調整されている。水景もまた無常であり、そんな柔らかな水流に揺れる水草を眺めながら、しばし思索に耽るのもいいだろう。



本体底面のツマミによって若干の流量調整ができるため、レイアウト空間や水草の種類、繁茂状態によって調整するとよい。



植物 ①ヘアーグラス (BIO) ※ ②エキノドルス・テネルス
 ブロードリーフ (BIO) ※ ③シハリス・ヘルフェリー (BIO) ※
 生体 ブルーベルベットシュリンプ

※はADA生体製品ラインナップです。

CREATOR WORKS

Yusuke Homma
PALUDARIUM W600 x D300 x H450 (mm)

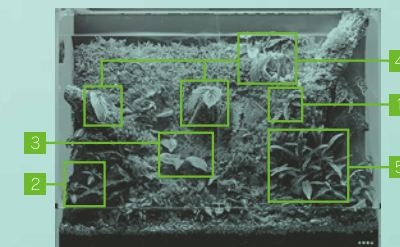


【緑霧の谷】

枝コルクを山水石で固定し壁面に沿わせ、ペゴニアsp.ベネスエラを印象的に配植した。枝コルクはカビが発生しやすいところがあるが、苔や植物を巻き付けることでカビの発生を大幅に防ぐことができる。そのため枝コルクにはカモジゴケ、ハイゴケ、シノブゴケ、ヤマゴケ、プレミアムモスをランダムに配置し、テララインで巻き付けることで自然感を演出している。前景で用いたオレンジ色のヘーゼルグラベルは、濃い緑の苔たちとよく似合う。

D A T A

撮影日 2024年6月21日
制作 本間 裕介 (ADA SUIKEI CREATOR)
水槽 システムバルダ 600
照明 バルダライト 600 (1日8時間点灯)
底床 ジャングルソイル、ジャングルベース、ヘーゼルグラベル (KUMU)
給水 ミストフローボックスに2~3週間に1度
排水 高吸水スポンジで1週間に1度程度
湿度管理 ミストフローで毎時20分間
サーキュレーションファン 40で毎時5分間
時間管理 パワーコード S-70



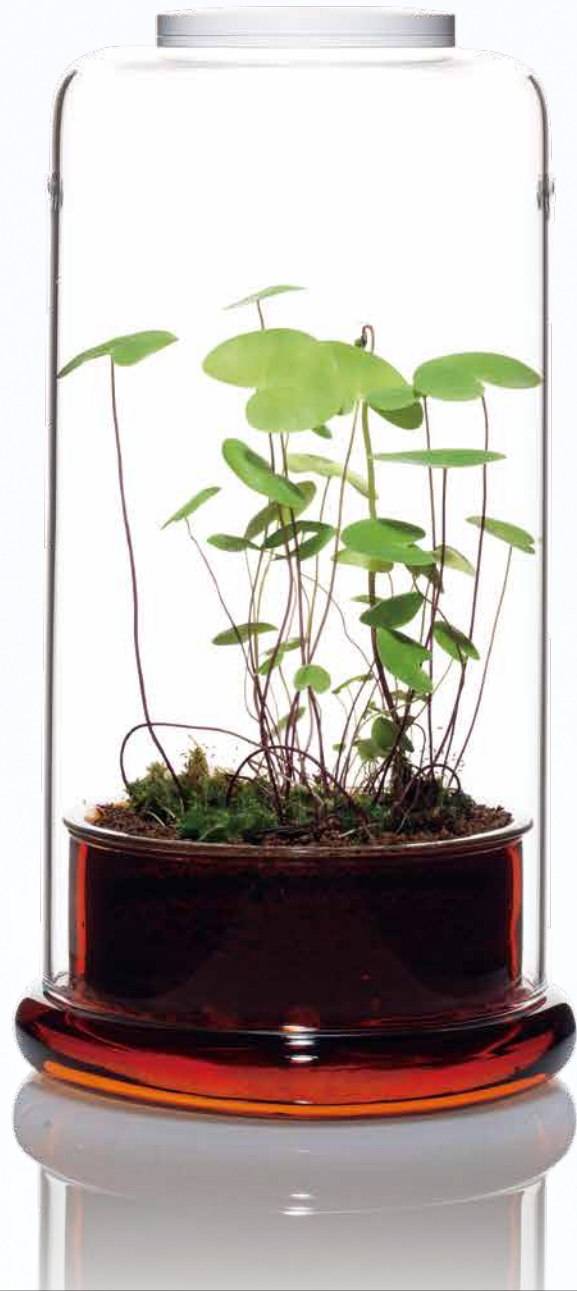
MAIN PLANTS

- 1 コミダケシダ
- 2 ビレア・シルバーツリー
- 3 ホマロメナ・ファミリス
- 4 ペゴニアsp. ベネスエラ
- 5 コルムネア・ピラピアータ

New Style Indoor Green

Style
04

DOOAで提案するガラスケースで主に熱帯植物の育成を楽しむスタイルをさまざまな作例とともに紹介。日々の生活の楽しみとして取り入れてみては。



DATA

CASE
CELL AMBER

LIGHTING
マグネットライト G スリム 6段階中3~4

PLANT
ウトリクアリア ネルビフォリア x レニフォルミス

SUBSTRATE
トロピカルリバーソイル、軽石

ウトリクアリアの仲間では葉形のかわいらしさを観賞の対象としているが、実は花が非常に美しい。ただし花を楽しむためには、花茎が長く伸びるためトップケースを外し育成する必要がある。

DATA

CASE
CELL EMERALD

PLANT
ヘリアンフォラ Hyb.

LIGHTING
マグネットライト G スリム 6段階中3~4

SUBSTRATE
トロピカルリバーソイル、軽石

筒状の葉を縦に広げ、高い空中湿度を好むヘリアンフォラにとって、CELLは最適な育成ケースとなる。この作例では腰水で栽培をしているが、ネクタースプーンもよく発達し状態よく育っている。



DATA

CASE
CELL CLEAR

PLANT
ネベンテス・ジャンバン

LIGHTING
マグネットライト G スリム 6段階中3~4

SUBSTRATE
トロピカルリバーソイル、軽石

小型の原種ネベンテスは人気があるが、中でもこのN.ジャンバンはピッチャーの形も面白く魅力的。CELLで湿度を保ち、夏場は涼しい場所に設置するとよい。草体は細いので支柱が必要。

KUMU MAKING GUIDE

#04

こだわりのレイアウトを楽しむための化粧素材「KUMU」。ここでは、それらを用いたレイアウトのつくり方や実用的なテクニックなどを、順を追ってわかりやすく解説します。



HOW TO MAKE

01



KUMU
レッドスレートストーン

石垣をイメージしてレッドスレートストーンを積む。

02



2段目を同じように積み、ジャングルソイルを入れる。

03



KUMU
アイボリーサンド

化粧砂にアイボリーサンドを入れる。

04



KUMU
ヘーゼルグラベルS

石垣の際にヘーゼルグラベルSを振りかけ、自然感と立体感を加える。

05

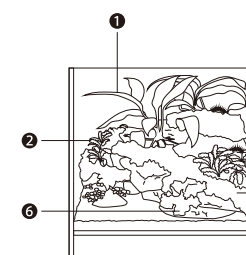


自然豊かな渓流をイメージしてサトイモ科の水草と苔類を植栽。

06



1カ月後、バンバイクラブを入れてジャングルを彷彿とさせる渓流レイアウトが完成した。



DATA

- ネオグラス エア W200xD200xH200 (mm)
- ジャングルソイル
- KUMU レッドスレートストーン、KUMU アイボリーサンド、KUMU ヘーゼルグラベルS
- 植物
- アマビアス・ミニマ ●ブセファランドラsp. クダガン ●カモジゴケ ●プレミアムモス ●南米モス
- 生体
- ディーブレッド・バンバイクラブ

IAPLC CREATOR'S FILE #15 Kazuma Takeuchi

世界トップレベルの水草レイアウトコンテストである「IAPLC」。このクリエイターズファイルでは、その上位入賞者にインタビューを行い、上達の秘訣や水草レイアウトに対するこだわりを紹介いたします。

竹内 一馬さんのSNSアカウント



PROFILE

竹内 一馬
Kazuma Takeuchi

年齢 / 51歳
 国名 / 日本
 職業 / 大学教員
 アクアリウム歴 / 28年
 趣味 / トレーニング、サウナ、園芸ソールのデザイン
 過去の受賞歴 /
 IAPLC2022 29位
 IAPLC2023 17位

印象的なイメージをつくりながらも 水草を美しく育て 魚にとって快適な環境を再現したい

Q 水草レイアウトを始めたきっかけは何ですか？

仕事で疲れていたある日、当時飼っていたハムスターの餌を買うために入ったペットショップで、偶然水草水槽を見つけました。店の片隅の暗がりの中でライトアップされた水草の色彩がすごく美しく、その場で夢中になって眺めていました。ふと我に返ったら、仕事で溜まった疲れが消え去っていることに気づきました。その日を境に、水草レイアウト水槽に興味が始まり、その魅力に引き込まれるようになりました。

Q 水草レイアウトのどのようなところに魅力を感じますか？

日常生活の中で自然とのつながりを感じられるところです。自然が好きなので山へよく散歩に行くのですが、その際は気温や安全面での心配も伴います。水草レイアウトは、野生動物や虫、突然の天候の変化などを心配せず、土や草のほのかな香り、水の感触、石や流木の手触りを直接感じながら創作に没頭できる最高の楽しみだと感じています。

Q 今回のレイアウトのテーマやモチーフ、アイデアはどこから得ましたか？

自然の美しさと人間の創作物の両方からインスピレーションを得て、それを組合せながらアイデアを広げていくことが多いです。広大な自然から多くを得るのはもちろんですが、美術や建築、デザインなどのクリエイティブな世界からも大きな影響を受けています。

映画やゲームなどの設定やコンセプトアーティストが描く幻想的な風景、写真家が捉える一瞬の美しさや建築家のユニークな設計手法などが、インスピレーションの源です。

Q レイアウトをする上でこだわりのグッズはありますか？

ADA LAB ハンドスプレーです。ワンプッシュで繊細な霧を均一に散布が可能な点とデザインが気に入っています。ガラス容器で水草の水上葉を育てる際に毎日愛用しています。



Q レイアウトを制作していく過程で、苦労した点や工夫した点はありますか？

印象的な構図を実現するために、レイアウト素材を吊り下げる方法を探っていました。専用の道具や具体的な方法論がなかったため、始めはシンプルに角材を利用し吊り下げる方法から試しました。ですが、自由に素材を動かせる可動式を目指したいと思い、さまざまな試行錯誤の結果、照明スタンドを改良して吊り下げる方法に辿り着きました。



【Score of the earth】 Aquarium Size W1,200×D500×H500(mm)

水草：ニューラージパールグラス / アヌビアス・ナナ プチ / エキノドルス・テネルス / ショートヘアグラス / ミクロソラム・トライデント /

スタウロギネ・レバンス / グリーンロータラ / ロータラ・インディカ / オレンジミリオフィラム / ミリオフィラム・エラチノイデス / ルドウィジア・レバンスルピン
 魚種：ナノストムス・ベックフォルディ / ヤマトヌマエビ

Q 水草や魚種の選定する上でポイントについて教えてください。

コンテストに向けて水草や魚を選ぶ際には、手に入りやすさと育てやすさを重視しています。それぞれの特性についてよく知ることもポイントです。よく知っていることによって大切な場面で思わぬトラブルに遭遇したときに冷静に対処しやすくなると考えています。

Q レイアウト制作でいつも心がけていることがありますか？

印象的なイメージをつくりながらも、水草を美しく育て、魚にとって快適な環境を再現したいと思っています。ただ、印象にこだわるあまり水草育成に時間を割くことができないうちもよく、毎年の課題でもあります。

Q コンテスト入賞の秘訣はありますか？

他者からの意見を積極的に求めることが重要

だと感じています。私自身がよく陥るパターンなのですが、自分一人で制作を進めていると、自分の視野が狭まりバイアスにとらわれて、客観的な判断ができなくなることがあります。他者からのアドバイスを受け入れることで、自分の固定観念を手放し、新しい視点を得ることができると実感しています。

Q IAPLCに応募するきっかけ、また、醍醐味はどんなところにあると思いますか？

絵画や彫刻といった伝統的な表現形式と比較して、まだ新しい水草レイアウトの表現は、IAPLCを観賞者として楽しむだけでも表現の進化を体験できる魅力的なコンテストだと思います。IAPLCに参加することは大変なことでもあります。世界中のクリエイターたちと同じ舞台に立つことによって、相互に刺激しあい創造性を高められ、それを継続していくことで、自分を成長させてくれるところ

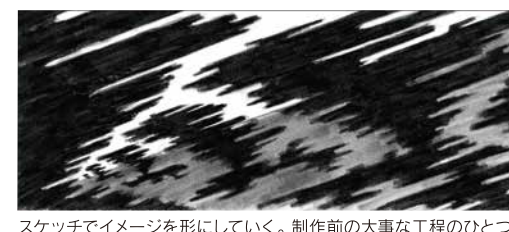
が醍醐味だと感じています。

Q アクアリウムクラブに所属している場合は、その活動内容をお聞かせください。

CAJ (Creative Aquascape Japan) に所属しています。アクアリウムに関する情報共有からコンテスト作品へのアドバイスに至るまでいつも刺激と学びをもらっています。仲間の存在が、日々の楽しみはもちろん、コンテスト作品の制作における大きな励みになっています。また、タナカカツキさんが設立した架空の学部「京都精華大学水槽学部」に部長としても携わっています。

Q 世界中の水草愛好家の皆さんにメッセージをお願いします。

水草の魅力分かち合える仲間がいることは、本当に嬉しいです。皆さんと一緒に今後この喜びを深め、水草の魅力を広げていきたいです！



スケッチでイメージを形にしていく。制作前の大事な工程のひとつ。



表現したい印象に近づこう、構図を調整していく。



構図素材を吊り下げるシステム。実現にはさまざまな試行錯誤が必要となった。

超大判フィルムの世界

第2回 青森県奥入瀬溪流 (1995年撮影) フジクローム・プロビア (RDP II) 8×20 in

※このページではカラーリバーサルフィルムの色をできるだけ忠実に再現し、実物の約70%の大きさに縮小した画像を掲載しています。

天野 尚と愛用の大判カメラ
1 8×20 in 2 8×10 in
3 11×14 in
4 4×5 in 5 5×7 in



生態風景写真の始まり

前回紹介した超大判フィルムによる水景写真の撮影開始と前後して、天野は超大判フィルムによる風景写真の撮影にも着手している。今回紹介する写真は1995年の春に青森県の奥入瀬溪流で撮影されたものだが、天野は前年の春と秋にも同じ場所を訪れており、その時は主に8×10in判と11×14 in判の大判フィルムを使用して撮影を

行なっている。そして、1995年の春、史上初となる8×20 in判の超大判カラーリバーサルフィルムによる奥入瀬溪流での撮影が行われた。“史上初”というのは決して大袈裟な表現ではない。なぜならば、当時、8×20 in判の超大判カラーリバーサルフィルムは世界中で天野しか使用していなかったからである。天野にとって動植物や

風景写真の撮影は、当初はネイチャーアクアリウムの水景を制作する上で欠かせない自然の情報を蓄積する手段であったが、大判フィルムによる風景写真の撮影を行うようになってからは、それ自体が独立した作品となっていった。そしてこの時期が、後に「生態風景写真」と呼ばれることになる天野独自の風景写真の始まりでもあったのだ。



“アマノ・スペシャル”の誕生

写真プリントを前提としたネガフィルムと異なり、カラーリバーサルフィルムは印刷原稿やスライド映写機での観賞を前提としたもので一般的とは言い難い。中判フィルムや大判フィルムになれば、なおさらである。当時でさえ大判フィルムを使用しているカメラマンは珍しく、使用していても4×5 in判か8×10 in判までで、11×14

in判以上の超大判フィルムは入手さえ困難な状況だった。当初、天野は当時カラーリバーサルフィルムの定番だったイーストマン・コダック社のエクタクローム 64 (EPR) を撮影に使用していたが、1990年代に入ると富士フィルムからフジクローム・ベルビア (RVP)、フジクローム・プロビア (RDP II) という画期的なカラーリバー

サルフィルムが相次いで発売された。その発色の良さや描写性の高さに注目した天野は、富士フィルムに超大判サイズでの生産が可能かどうか打診した。特に8×20 in判というフォーマットは富士フィルムでも前例がなかったが、天野の熱意により、世界最大のカラーリバーサルフィルム“アマノ・スペシャル”が誕生したのである。

「生態風景写真」のコンセプトは、超大判フィルムの圧倒的な描写力によって一枚の風景写真の中にその土地の生態系を構成する動植物をすべて克明に記録するというもの。実際はシャッタースピードや警戒心の問題で動物を記録することは難しいが、この写真からは早朝の空気感や野生動物の気配まで感じられないだろうか。フィルムの原寸から約3倍に拡大するとムラサキヤシロツツジの花や川石の苔まで克明に記録されていることがわかる。



水草道!

トキメキと出会うため



何でもネットで
購入できる時代。



それでも私は
お店に足を
運んでしまう。



お店は思わぬ
トキメキや感動に
出会わせてくれるから。



私はそうだった
「心の揺さぶり」をお店に
求めているのかもしれない。

Illustration / Hayase Kato

STAFF CREDIT

Publisher
天野しのぶ

Art Direction
NATURE AD DESIGN

Design
丸山 悟司 / 市川 亮 / 高遠 将史
板橋 広夢 / 加藤 颯世

Editor
本間 裕介 / 松本 隆介

Supervisor
大岩 剛

Photo Supervisor
阿部 正敏

Published by
株式会社 アクアデザインアマン
https://www.adana.co.jp

Printed by
株式会社山田写真製版所



Lepanthes saltatrix
レパンテス サルトトリックス

アンデスの麓に息づくレパンテスの一種です。高性能カメラでの撮影によって、肉眼では捉えきれないその繊細な世界を見ることができました。自然環境に応じて姿を変え、独自の形をつくり上げた植物たち。一方、我々の社会環境もAIなどの最先端技術によって日進月歩で変化しています。この花を見て、私たちも変化を前向きに受け入れ、「進化」しなければと感じました。



オオオニバスはアマゾンに行ったら一度は見たい水草の一つだった。学名はビクトリア・アマゾンニカ。アマゾンの女王様的な何とも耽美な響きである。初めて天野尚とアマゾンに行ったときマナウス近郊でオオオニバスが見れる場所があると聞き、早朝現場に乗り込んだ。そこで我々は見えてはいけない瞬間を目撃してしまった。どうやら朝早く来すぎたようだが、観光向けスポットではよくある仕込みのようなのでくれぐれも注意を。

アマゾン回顧録

Text / Taroishi Ohno

PLANTS PORTRAIT

Photo & Text / Rynsuke Masumoto

日々植物の育成に勤しむ松本隆介の視点で、毎月ひとつ植物を紹介します。

INFORMATION

IAPLC 2024

1,450

79

参加国・地域数
Country & Area

応募総数
Total Entry

IAPLC2024にご応募いただいた皆様、誠にありがとうございました。その結果発表は、例年通りYouTubeのADA公式チャンネルにてランキングと作品発表をプレミア公開いたします。そして今年是新潟にてIAPLCの表彰式となる「IAPLC2024 アワードセレモニー」を開催。さらにイベント2日目には、セレモニー参加者限定でNAギャラリーを解放するほか「ADAをより好きになる」企画をご用意。水草レイアウトを愛する方なら誰でも参加できるADAの新しいイベントです。世界の仲間たちとの交流を一緒に楽しみましょう。

【結果発表】

2024.8.31 SAT 20:00 — TOP100ランキング発表をプレミア公開!

【IAPLC 2024 アワードセレモニー】 ※詳細は決まり次第IAPLC公式HP、SNSなどを通じて告知予定です。

2024.11.23 IAPLC2024表彰式、セレモニーパーティー (ANAクラウンプラザホテル新潟にて)

2024.11.24 NAギャラリー見学、天野邸4mネイチャーアクアリウム公開など限定イベントを開催 www.iaplc.com

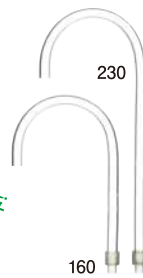
WABI-KUSA

これからの時期、気温もぐんぐん上昇し、佗び草の水上栽培に最適な季節となります。窓辺で手軽に水草の育成を楽しんでみませんか。



TERRA BASE FLOW PIPE

テラベース フローパイプは、ストリームポンプ ミニに接続する専用パイプでテラベースに設置します。着生させたモスや植物への給水に加え、水滴がしたたる視覚的な演出も楽しめます。またテラベースでの育成に最適なアマビアス5種がADAの生体製品に新たにラインナップ!



テラベース
フローパイプ
160: ¥1,540 (税込)
230: ¥1,650 (税込)

※別売のストリームポンプ ミニに接続してご使用ください。



MINI NA

Mini NATURE AQUARIUM

小さな大自然、サイズを超えた水草体験。



キューブガーデン
W150×D150×H220 (mm) ¥6,710
マグネットライト G スリム ¥8,250
メタルカバー・ミニ ¥5,500
メタルベース・ミニ ¥5,170
CO₂ システム 74-DA ¥15,400
ベルガラス・ミニ ¥5,280
ストリームポンプ・ミニ ¥2,530
ミニNAリキッド ¥1,100

ミニNAセット 150 ¥49,940
※表示価格はすべて
メーカー希望小売価格 (税込) です。
セット内容、ノウハウなど
詳しくはADAホームページをご確認ください。
<http://www.adana.co.jp>

ADA
aqua design amano